


心・腎・代謝領域横断シンポジウム

健診制度を最大限に活かすための
次なるアクションとは
— 健診後の受療へとつなぐ、データ連携の視点から —

2026年7月6日（月）13:00 - 16:00




HGPI
Health and Global Policy Institute

 プログラム（順不同・敬称略）
基調講演1
「日本の健診制度の歩みと今後の展望」
中山 健夫（京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学 教授）

基調講演2
「遺伝的心血管リスクの最新国際動向」
Florian Kronenberg (Chair of International Task Force)

パネルディスカッション
「健診後の受療をどう実現するか～心腎代謝リスクに向き合う制度と連携」
パネリスト：
要田 弥生（広島県 呉市 福祉保健部 福祉保健課 健康政策グループ 課長補佐）
田村 功一（横浜市立大学 医学部循環器・腎臓・高血圧内科学 主任教授）
原田 睦生（はらだメディカルクリニック 院長）
福間 真悟（広島大学大学院医系科学研究科）
堀江 一郎（長崎大学医学部 内科学第一 講師）
モデレーター：塚本 正太郎（日本医療政策機構 マネージャー）

 ハイブリッド開催（現地・オンライン）
現地会場：九段会館テラス
（東京都千代田区九段南1丁目6-5）

詳細・お申込は
こちら



主催：日本医療政策機構
後援：日本循環器協会
日本腎臓病協会
日本動脈硬化学会



<https://hgpi.org/events/cvd-ckd-ncd-20260706.html>